



はじめじめ、ムシムシした夏にひときわ元気になる水虫。悩まされている方も多いと思います。しっかり治療して今年こそ水虫とサヨナラしましょう！

今回のテーマ

《 水虫 》



* 水虫とは？ *

水虫はカビ(真菌)の一種である白癬菌が寄生しておこる病気です。白癬菌は皮膚の一番外側にある角質層に寄生して増えていきます。



* 水虫のタイプ *

① 趾間型(しかんがた)

足の指の間の皮膚がふやけたようになり、じくじくしたりカサカサしたりする。

② 小水疱型(しょうすいほうがた)

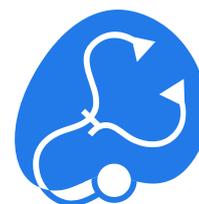
足の裏などに小さな水ぶくれができる。

③ 角質増殖型

足の裏全体が固くなる。

④ 爪白癬(つめはくせん)

爪が白く濁って分厚くなる。



* 水虫の治療 *



水虫の治療は抗真菌薬が中心となります。外用薬と内服薬があり、白癬菌が角質層の表面近くにいる趾間型や小水疱型の水虫には外用薬が、外用薬が届かない角質増殖型や爪白癬、治りにくいタイプの水虫に内服薬が用いられます。塗り薬には、クリーム剤・軟膏・液剤などがあり症状や使用感に応じて選びます。このとき大事なことは症状が治ったからといって途中で治療を止めないこと。白癬菌が皮膚の奥にひそみ、おとなしくしているだけのケースが多いので白癬菌が完全にいなくなるまで医師の指示にしたがってきちんとお薬を使い続けることが大切です。